

Ⅸ コピーは見た

小学校3年生以上・45分

伝える力と聞く力、そして想像力と理解力がカギです。グループ内で各自が見た図絵の情報を共有し、同じ図絵を作成（コピー）していく協力ゲームです。

1 ねらい

- (1) 情報を相手に正確に伝えること（伝達力）、相手の話をよく聴くこと（理解力）を養います。
- (2) 議論などを通してメンバーの相互の意見の一致を図ります。（合意形成）
- (3) 協力する楽しさ、課題の達成感や成功の喜びを味わいます。

2 対象および人数

- (1) 小学校3年生以上（課題の難易度で対象を調整できます）
- (2) 1グループ5～6人　いくつかのグループが同じ場所で同時に実施することができます。

3 準備するもの

- | | |
|---------------|----------------|
| (1) モデルとなる図絵 | 1グループ1枚<P66参照> |
| (2) A3サイズの内紙 | 1グループ1枚 |
| (3) サインペン、色鉛筆 | 1グループ各1セット |
| (4) ふりかえり用紙 | 1人1枚<P87・88参照> |

4 時間

45分

- | | |
|----------------|-----|
| (1) 導入 | 5分 |
| (2) 実習（ゲーム） | 20分 |
| (3) 各グループの結果発表 | 5分 |
| (4) ふりかえり | 10分 |
| (5) まとめ | 5分 |

5 課題

時間内にグループで協力して、離れたところにあるモデルと同じ図絵を完成させます。
制限時間は20分です。

6 ルールの指示

- (1) グループ内で順番を決め、必ず一人ずつモデル図絵を見に行きます。何度も見に行くことができます。
- (2) モデルを見に行った人は作業に入れません。口頭で情報を伝えるだけです。
(次に見に行く人が図絵を描くなどの順番を決めておいてもよい)
- (3) 見に行く人も、描く人も情報をメモすることはできません。

7 進め方

| 手 順 | 留 意 点 |
|---|---|
| (1) 導入 (5分) ① 各グループに用紙とペン等を配布する。 ② 課題、ルールを説明する。 | ・モデル図絵がある場所の確認 ・安全対策で「走らない」や「片側通行」のルールを加えたりする。 |
| (2) 実習の実施 (20分) ① グループでモデルを見に行く順番を決める。 ② 初めに見に行く人をスタートにつかせ、スタートとともに時間を計る。(20分間) ③ 完成したグループは手を挙げて完成図を提出する。 ④ 全グループ提出後にモデル図絵を持ってきてグループ発表を行う。 | ・対象に応じて、図絵の複雑さを変えたり、色付図絵を用いたりする。 ・終了したグループは、完成図の最も良い点を決めておく。 |
| (3) 各グループの結果発表 (5分) ① 各班、発表者を決めて自分たちの作品を披露する。完成図のアピールポイントも発表する。 | ・提出されたグループ順に発表を促す |
| (4) ふりかえり (10分) P85参照 | |
| (5) まとめ (5分) 「話す」「聴く」「協力する」という観点で発表で出たふりかえりをもとに話をする。 | ・グループの発表で出てきていないことがあれば補足する。 |

8 ふりかえり

- (1) 個人記入
ふりかえり用紙に個人で記入してもらう。
- (2) グループ共有
ア 司会・記録・発表者を決めてもらう。
イ ふりかえり用紙の質問項目1～3について順番に各自グループ内で発表する。
- (3) 発表
ア 1(1)～(5)について、名前ではなく人数を発表する。
イ 2について、各何点か発表する。

9 まとめ

各グループの実習の様子や発表をふりかえりながらまとめます。指導者は実際にあったことなど実習中の具体例を交えて話すといよいでしょう。

また、実習を通して、どのような「気づき」や「発見」があったかをインタビューしてみるのもよいでしょう。

図1(易) P94にカラーイラストで掲載しています。

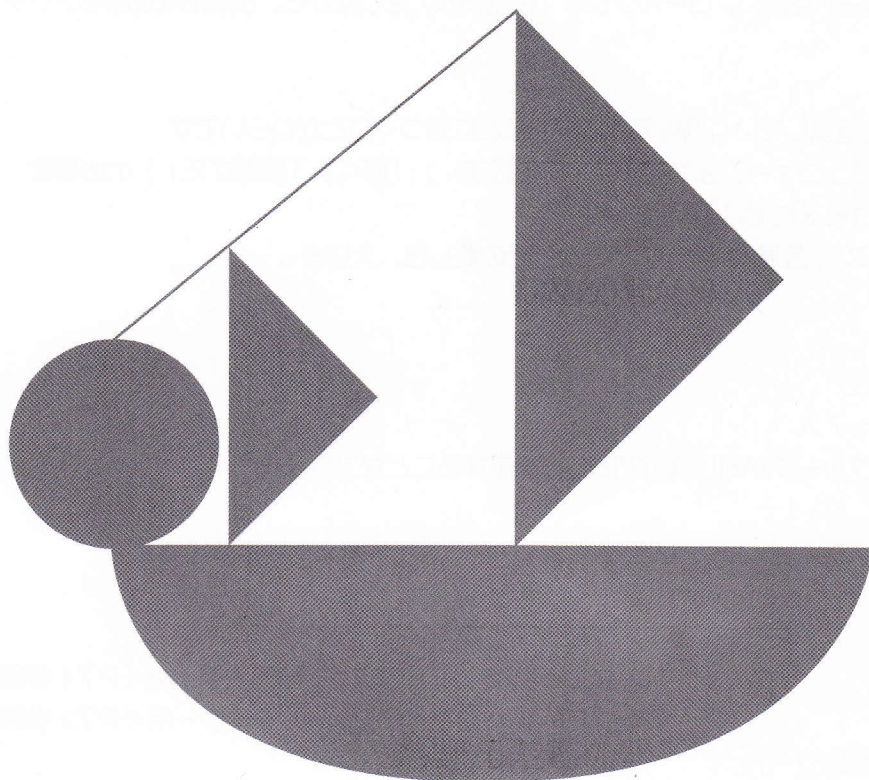
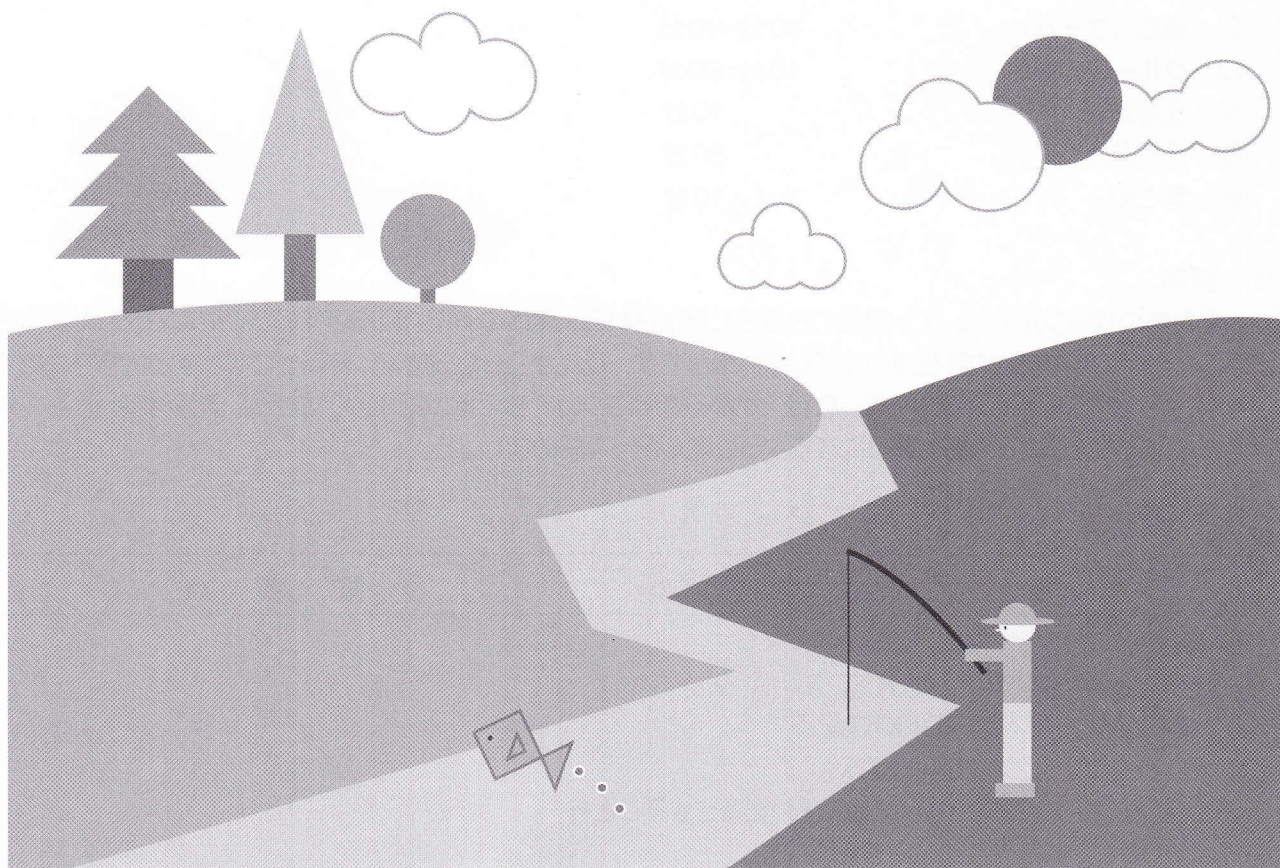


図2(難) P95にカラーイラストで掲載しています。



IX
「ピー」は見た

※図柄は他のものでも可能